

やはば

議会だより

228

2024.4.25

岩手県
矢巾町議会



4月5日 煙山小学校入学式 新入生入・退場
～ドキドキの晴れ舞台～



4月8日 矢巾北中学校入学式 新入生呼名
～希望とともに新たな一歩を踏み出す～

令和6年度予算 主要事業 2

予算決算常任委員会

予算の審議、白熱 4

町政を問う

代表質問3会派・一般質問11議員 11

過去の議案書などは
町議会ホームページ
に掲載中



予算の詳細は

令和6年度予算の詳しい内容は、広報
やはば令和6年4月号12～13ページに
掲載されています。

広報やはばの
デジタル版はこちらから



予防接種事業



1億900万円

インフルエンザ予防接種委託料など

私立保育園等整備費補助事業



1億4,510万円

新規設置の保育所への補助金など

令和6年度

主 要

重点対策加速化事業



4,220万円

個人および民間事業所向けの自家消費
型太陽光発電設備導入補助など

町営住宅改修事業



3,650万円

三堤住宅2号棟屋根改修工事など

中学校・大型提示装置備品購入



2,970万円

中学校の普通学級、特別支援学級、音楽室や理科室などの特別教室に配備予定

限られた財源有効に活用

令和6年度の一般会計予算の総額

115億8,960万円

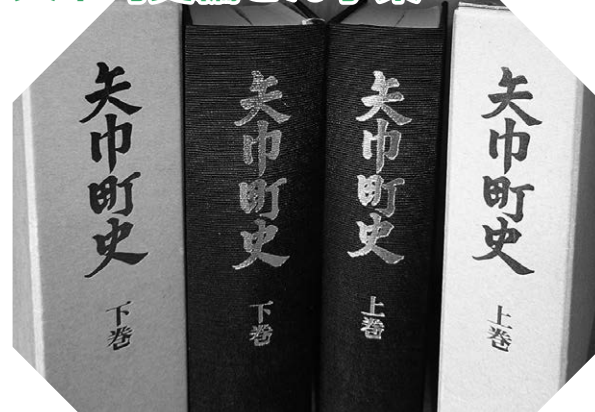
自主財源

依存財源

44.3%

55.7%

矢巾町史編さん事業



1,910万円

合併70周年に併せ、町史現代編を令和7年3月までに約2,000冊発刊予定

矢巾町の

事業

※金額は10万円未満切り捨て

議会史編さん事業



840万円

合併70周年に合わせ、議会史を令和7年3月までに約250冊発刊予定

史跡公園整備事業



8,910万円

木製冑が出土した井戸及び冑の復元、休息施設の建設、園路の整備、車止め、芝張り、遺構の平面表示、国道接続スロープの設置など

産業・建設

質問 ふるさと納税返礼品の
人気順位と数量は。

回答 令和6年2月27日現在の
返礼品上位5品は、1位い
わて牛ローストビーフセット
(3116件)、2位南部鉄
ちび遮光器鉄(1745件)、



ふるさと納税の返礼品にもなっている町産のりんご

3位無添加ローストビーフ
(1610件)、4位西京漬け・
粕漬け5種セット(692件)、
5位アイス福袋(550件)
となっている。

質問 特産品宣伝普及業務委
託料の委託先と、委託内容お
よび費用の内訳は。

また、令和6年度の特産品
事業で普及に努める特産品は
何か。新作の予定は。

回答 委託先は特産品の開発
や製造に精通した事業者を想
定。町内産の農産物や加工品
を活用した特産品を検討し、
それを製造・販売できる事業
者と町をコーディネートする
事業で、費用の内訳はレシピ
作成、商品試作指導、特産品
開発マネジメントなど。
令和6年度の事業内容につ
いては現在調整中。

質問 新規就農育成総合対策
事業補助金の内容は。

回答 新規就農者の新規投資
(機械、施設など) に対して
国が4分の2、県が4分の1
で支援する事業である。

質問 集落営農活性化補助金
の対象営農組織数は。

回答 現時点では29営農組織
が対象。

質問 ブロック塀撤去支援事
業補助金の申請見込み件数は。

回答 交付金の対象となる通

学路に面したブロック塀の撤
去は、20万円を3件。町の単
独事業の対象となる上記以外
の道路や水路に面したブロッ
ク塀の撤去は、20万円を2件
見込んでいる。

質問 町営住宅改修事業の改
修内容は。

回答 三堤住宅2号棟高架水
槽改修工事の設計費、三堤住
宅2号棟屋根改修工事設計監
理費、三堤住宅2号棟高架水
槽給水管保温工事、森が丘住
宅舗装復旧工事および三堤住
宅2号棟屋根改修工事を計上。



煙山小学校前の町道の現在

質問 住宅使用料が前年度比
減(△1235千円)の理由
と、各町営住宅の入居率は。

回答 住宅使用料は入居者の
所得に応じて金額が変動し、
高額の家賃となっている方の
退去が多かったため大きく減
額となる。入居率は令和6年
2月末現在で88・8%。

質問 地区内連携補助金は、
どのように活用する考えか。

回答 煙山小学校前の町道赤
林室岡線で、ゾーン30プラス
を実施することに活用。令和
6年度は、詳細設計業務を予
定している。

令和6年度予算を慎重審議

環境

質問 地域脱炭素移行重点対策の具体的な内容と事業の進め方は。また、補助金の用途は。

回答 重点対策加速化事業は、令和5年度から令和9年度までの5年間に、公共施設のLED化や太陽光発電設備を

導入する直接事業、個人および民間事業者向けの間接補助事業を行うことにより、町内の脱炭素化のスタートアップを図るもの。

令和6年度は、個人および民間事業者向けの自家消費型太陽光発電設備導入補助、民間事業所向け高効率照明（L

暮らし

質問 個人番号カードの普及率は。

回答 総務省が公表している保有枚数率で、75・2%（令和6年1月31日現在）。

質問 矢巾斎苑の想定火葬件数は。

回答 過去5年間の火葬件数の平均により、約350体の火葬を想定。

防災

質問 県防災士養成講座受講負担金とあるが、受講者の見込み人数数は。

回答 令和6年度の新規町防

災士養成者数は20名を予定。



防災士の研修

質問 消防自動車更新事業での車両更新の今後の計画は。

回答 令和6年度に予定する第3分団第13部の消防ポンプ自動車の更新をもって、当面の消防自動車の更新事業は終了する見込み。

コミュニティ

質問 地域コミュニティ活動交付金の使い道は。

回答 令和5年度末をもって行政区長制度が廃止。今後は自治会（地域コミュニティ）に対して交付金を交付し、自治会運営が円滑に進むよう支援。

質問 コミュニティ施設などの維持管理として、主な修繕予定箇所は。

回答 サンアベニュー矢巾第3公園、同第6公園、同第7公園のブランコ、いずみ広場の鉄棒を主に修繕予定。そのほか、年度内に突発的に発生したコミュニティ公園や広場、自治公民館敷地内などの修繕に対応。

質問 新たに設置予定の防犯灯の数と場所は。

回答 令和5年度中に設置希望調査を実施した際、要望のあった13自治会に補助。補助割合は、事業費の2分の1かつ1基あたり最大3万5千円で算定。

19項目の意見を付し、可決

審査報告

予算決算常任委員会 委員長 昆 秀 一

令和6年3月11日から13日までは、各委員が総務分科会・産業建設分科会・教育民生分科会に分かれ、それぞれが所管する事業内容の予算について慎重審議しました。また、3月14日は総括質疑を行い、審議を尽くしました。

3月18日は、予算決算常任委員会の昆秀一委員長が19項目の意見を付し可決すべきとの意見書を議長に提出し、賛成多数で可決しました。

1 第8次総合計画の推進に沿って、予算執行にあたっては、各課の連携を強化し推進に努められたい。

2 広報やはばのリニューアルは、町民の意見を聞き、さらに読みやすい紙面づくりに努められたい。

3 町民総合ポータルアプリ「やはナビ！」は、説明会などをを行いさらなる普及啓発に努められたい。

4 国際交流は、希望する多くの生徒を派遣できるように取り組まれたい。

5 ふるさと納税は、返礼品およびサービスなどの工夫によりリピート率を上げ、財源確保に努められたい。

6 「やはばウェルソックWiFi」は、利用者など

に内容説明するとともに、承継事業者がしっかり引き継ぎを行い運営できる体制整備に努められたい。

7 移住定住、関係人口創出事業に積極的に取り組まれたい。

8 地域コミュニティの課題に向き合い、町民の声にしっかり耳を傾け各組織の支援にあたられたい。

9 行政区に配布したパソコンの有効活用にも努められたい。

10 通学路の防犯灯などは行政負担が伴わないで設置する方法を早急に検討されたい。

11 ハラスメントのない社会を目指し、ハラスメント防止の啓蒙に努められたい。

12 「こびりっこサロン」や「縁（えん）ジョイやはば」ほ

か高齢者や地域の居場所づくりに、さらに取り組まれたい。

13 ごみ分別・資源ごみ回収ルールの指導を徹底し、さらなる減量化に努められたい。

14 矢巾町農林業ビジョンを策定した上で、基幹産業の農林業振興に努められたい。

15 町内の観光事業は、バリアフリーの視点に配慮し推進に努められたい。

16 地域の生活道路要望は、精査して優先順位を慎重に検討し、地域に説明されたい。

17 近年は自然災害が多いことから、防災マップを活用した対策にさらに取り組まれたい。

18 児童生徒が主体となった教育振興にさらに取り組まれたい。

19 食材の物価高騰から、給食費の保護者負担増とならないよう努力をされたい。

討論

反対

小川文子議員

新しい事業を行う際は慎重に選定・検討が必要。また、やはばWiFiの委託業者が事業継続できない状況に陥った際も早急な説明が必要であったなどのことを踏まえ、反対討論とする。

賛成

村松信一議員

公平公正・継続性に加え俊敏性や長期的見通しが求められる中、職務に懸命な職員姿を見てきた。今後さらなる努力を重ね町発展に結びつけていくことを期待し、賛成討論とする。

賛成

高橋安子議員

令和6年度はまちづくりを基本としながら、行政サービスの維持向上と町民の付託に応えた予算内容を評価する。

子育て世帯の移住定住や高齢者の社会参加などの促進に期待し賛成討論とする。

福祉

質問 障害者自立支援給付費負担金が前年度比増となる理由と対象人数は。

回答 障がい福祉サービスの利用者は、サービス事業所や相談体制の充実などにより全国的に増加しており、本町でも同様の傾向にある。令和2年度は211名、3年度は232名、4年度は237名、5年度は239名となっており、6年度予算では245名を見込んでいる。

質問 重度心身障害者医療費事業について、重度心身障害者の人数は。

回答 令和5年4月1日現在の認定者数は710名。

質問 高齢者にやさしい住まいづくり推進事業補助金の内容は。また、5年度実績は。

回答 要援護高齢者および身体障がい者の住宅の改善に要する経費の3分の2（上限40万円）を町から申請者に交付する事業であり、そのうち2

分の1が県補助金として町に交付される。高齢者分4件、障がい者分1件を見込む。

また、令和5年度の実績は、令和6年2月末時点で高齢者分2件。

質問 後期高齢者医療保険料が前年度比増となる理由と、今後の傾向は。

回答 令和6年度から保険料率が改定されるため。

本町は75歳以上の人口が増加傾向であるため、保険料も増加傾向が続くと見込まれる。

子ども支援

質問 児童手当交付金が前年度比減であるが、対象児童数は前年度と比較して、どれくらい減の見込みか。

回答 現行制度における本町が支給する児童手当対象児童数は約150人減の見込み。

質問 ショートステイ事業委託料の内容と、見込み利用件数は。

回答 保護者の病気、出産、

仕事などにより、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童福祉施設において必要な養育や保護を行うもの。令和3年度は2名、令和4年度はなし、令和5年度の現時点では1名の利用があった。令和6年度は、4名分を見込んで計上。

教育支援

質問 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金は、

どのように活用するのか。

回答 令和6年度からスクールガードリーダーの配置を行うため、防犯点検、巡回見守り、スクールガードボランティアに対する研修などの謝礼・交

通費・消耗品費に活用。

質問 学校適応支援事業について、特別支援教育支援員は各学校にそれぞれ何名か。また、特別支援教育を受けている児童生徒の人数は。

回答 令和6年度の特別支援



小学生の安全を守るスクールガードの皆さん

教育支援員配置予定は、徳田小1名、煙山小2名、不動小2名、矢巾北中1名の計10名。特別支援学級の在籍予定人数は小学校50名、中学校28名。

質問 中学校教育振興事業の学校ネットワーク機器等保守業務委託料が前年度比増となる理由は。

回答 GIGA端末不具合対応の増に加え、令和6年度から校務用端末の更新があり、前回の更新では備品購入としていたものを、今回はリース契約とするため、賃貸借と設定委託料の増となっている。

質問 大型提示装置備品購入費は電子黒板45基分のようなものが、全クラスに配置になるのか。また、小学校への導入計画は。

回答 普通学級、特別支援学級、音楽室や理科室などの特別教室に配置予定。小学校の導入については未定であるが、順次配置できるよう交付金などを活用しながら検討。

▼障害児通所給付費

4,000千円

▼認定こども園施設型給付費

55,919千円

▼地域型保育給付費

10,276千円

主な質疑

【質問】住民税非課税世帯等に対する物価高騰対策給付費の減額については、想定より対象世帯数が少なかったなどの事情があったのか。

【回答】非課税世帯数はおおむね把握しており、給付率は約95%。非課税世帯のうち未申告の方や修正申告の方も想定し、予算的には多く確保していたため、その分を減額するもの。

人 事

人権擁護委員

8名の人権擁護委員のうち、令和6年6月30日に3名の委員が3年の任期を迎えることから、人権擁護委員の推薦に

ついて議会に意見を求めるもの。

再任 宮 一夫 さん

(西徳田2区)

再任 中 澤 美 香 さん

(矢巾1区)

新任 沼 内 邦 尚 さん

(南矢幅8区)

現職 佐々木 昭英 さん

(広宮沢1区)

現職 佐々木 博 さん

(太田)

新任 中 塚 誠 さん

(矢次)

現職 阿 部 江利子 さん

(間野々)

現職 高 橋 かおる さん

(下赤林)

現職 白 澤 和 実 さん

(桜屋)

現職 佐 藤 俊 孝 さん

(南矢幅2区)

現職 高 原 弘 明 さん

(白沢)

現職 星 川 忠 博 さん

(館前)

現職 佐々木 達 也 さん

(煙山)

新任 福 澤 広 基 さん

(東徳田2区)

新任 佐々木 光 枝 さん

(煙山)

新任 朴 田 敦 志 さん

(南矢幅9区)

現職 金 子 忠 博 さん

(北郡山)

現職 熊 谷 洋 司 さん

(下赤林)

選挙管理委員会委員

任期は令和6年3月26日から令和10年3月25日まで。

廣 田 政 夫 さん

菊 池 孝 さん

(桜屋)

西 村 文 治 さん

(南矢幅7区)

野 中 毅 さん

(矢巾2区)

任期は令和6年3月26日から令和10年3月25日まで。

伊 藤 広 子 さん

(白沢)

菊 池 忠 雄 さん

(西徳田1区)

作 山 啓 子 さん

(高田2区)

齋 藤 美穂子 さん

(新田2区)

選挙管理委員会補充員

任期は令和6年3月26日から令和10年3月25日まで。

伊 藤 広 子 さん

(白沢)

菊 池 忠 雄 さん

(西徳田1区)

作 山 啓 子 さん

(高田2区)

齋 藤 美穂子 さん

(新田2区)

都市計画マスタープランの変更

現行の矢巾町都市計画マスタープランは、平成30年10月に策定。現行計画の策定後、町内3地区の市街化区域編入や国道4号盛岡南道路の事業化が行われたこと、岩手医科大学付属病院移転に関連する事業がおおむね完了したことなどを踏まえ、都市利用および都市施設などの将来構想について見直しを実施した。

主な改定内容（概要）

- ・直近の市街化区域定期見直しの結果などを踏まえ、主に国道4号盛岡南道路（想定ルート）周辺の土地利用の在り方について見直しを実施し、市街地検討ゾーンを拡大した。
- ・国道4号盛岡南道路の事業化を踏まえ、町道の役割・分類の見直しを行った。
- ・各種統計資料などを最新のデータに更新した。
- ・その他、平成30年から令和5年の間に変更・変化のあった事項を反映した。

1月第2回会議

指定管理者の指定

指定管理者

特定非営利活動法人矢巾町
体育協会会長 川村 勝弘

指定管理施設

町総合体育館、屋外運動場

指定管理期間

3年間

補正予算

主な歳入

▽物価高騰対応重点支援地方
創生臨時交付金

283,242千円

▽道路メンテナンス事業費補
助金

19,250千円

主な歳出

▽住民税非課税世帯等に対す
る物価高騰対策給付費

75,000千円

物価高騰に対する支援を

みなさんからの 道路整備事業に 関する請願



町道早稲屋敷第12号（矢巾町広宮沢地内）

請願者

南昌コミュニティ会長

高橋 壽治

医療法人社団帰厚堂理事長

木村 宗孝

社会福祉法人敬愛会理事長

木村 宗孝

矢巾町西部工業団地企業連絡

協議会会長 株式会社大東環

境科学代表取締役

小山 克也

賛成多数

採択

審査意見

広宮沢地内に東北最大級の
物流施設が整備されたため、
通勤時などに側道として利用
する車両も多く危険である。

現段階では、当該路線は通学
路に指定されておらず、歩道
整備の必要性は高くないが、
道路拡幅および舗装整備に伴
う歩行者の利用動向を見極め
たうえでの整備が望まれる。

町としては地域住民の往来
に安全安心な道路整備を
行う必要性があり、本請願の
主旨は理解できるものと判断
し、採択すべきものとした。

3月会議

補正予算

主な歳入

▽法人町民税

12,442千円

▽固定資産税

28,000千円

▽町たばこ税

12,845千円

▽道路占用料

1,344千円

▽岩手県市町村振興協会市町
村振興交付金

4,149千円

主な歳出

▽財政調整基金積立金

199,788千円

▽住民税非課税世帯等に対す
る物価高騰対策給付費

△25,240千円

町政を問う

代表質問

代表質問は、町長の施政方針演述・教育長の教育行政方針演述の内容について問うもので、今回は3交渉会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。（本町では、3名以上で構成される会派を交渉会派としています。）

●町民の会 みずもとじゅんいち 水本淳一 議員……………P12

①施政方針における令和6年度主要事業について ②教育行政方針の基本方針3「生涯を通して学び郷土の歴史と文化を誇りにし、未来を創造するひとづくり」について

●新誠会 あかまるひでお 赤丸秀雄 議員……………P13

①町長の施政方針演述内容について ②教育行政方針演述内容について

●矢巾未来の会 むらまつのぶかつ 村松信一 議員……………P14

①施政方針および行政運営について ②教育行政方針について

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

●やがみともこ 谷上知子 議員……………P15

①認知症対策について
②子どもショートステイやトワイライトステイについて

●おがさわらよしこ 小笠原佳子 議員……………P16

①夜間中学校の設置について
②幼児視線での安全を守る取組みについて
③SNS環境から児童、生徒を守る取組みについて
④町営住宅について

●ふじわらしんえつ 藤原信悦 議員……………P17

①国指定史跡徳丹城跡整備のあり方と史跡を含めた周辺域の活性化について
②中小企業振興および企業誘致について

●よこさわしゅんいち 横澤駿一 議員……………P18

①災害に強いまちづくりに向けて
②再生可能エネルギーを利用した循環型社会の実現へ向けて

●おがわふみこ 小川文子 議員……………P19

①児童・生徒に芸術鑑賞教室を
②脱炭素・ごみの減量・資源化の計画と取り組みについて
③西部系配水施設整備事業について

●やまもとよしあき 山本好章 議員……………P20

①矢巾町教職員働き方改革プランについて
②西部地区の観光活性化について
③一般国道4号盛岡南道路について

●さいとうかつひろ 齊藤勝浩 議員……………P21

①「2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取り組み」について
②町民の健康と人口減少対策について
③「矢巾町都市計画マスタープラン」と持続可能社会の確立について

●こんしゅういち 昆秀一 議員……………P22

①持続可能な地域コミュニティの形成について
②広聴広報活動の充実について
③DXの推進について

●きむらゆたか 木村豊 議員……………P23

①令和5年3月に更新した「防災マップ」について
②鳥獣被害防止について

●ササキ マサヒロ 議員……………P24

①「麻」を地域資源として最大限活用し、地方経済の自立に向けた意欲的な取り組みについて
②政治参加によるみんなで作るまちづくりについて

●たかはしけいた 高橋敬太 議員……………P25

①持続可能な地域コミュニティの形成について
②町職員の人材確保に向けた取り組みについて
③児童・生徒の教育機会の保障について

一般質問通告書などは、順次、町議会ホームページに掲載しております。
また、YouTubeで代表・一般質問の様子をご覧いただけます。
掲載の質疑内容は、質問した議員が自ら原稿を書いています。

代表質問
通告書



一般質問
通告書



各議案の採決状況

令和6年定例会 1月第2回会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果
		高橋 恵	高橋 敬太	横澤 駿一	ササキ マサヒロ	吉田 喜博	藤原 信悦	齊藤 勝浩	小川 文子	木村 佳子	小笠原 佳子	山本 好章	高橋 淳一	水本 信一	村松 秀一	赤丸 秀雄	谷上 知子	
議案第1号	指定管理者の指定（町民体育館、町屋外運動場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第2号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第3号	令和5年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和6年定例会 3月会議

諮問第1号から 諮問第3号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	同意
議案第4号	第8次矢巾町総合計画基本構想及び前期基本計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第5号	矢巾町都市計画マスタープランの変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第6号	矢巾町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第7号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第8号	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第9号	矢巾町道路占用料に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第10号	矢巾町課設置に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第11号	矢巾町立保育所設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第12号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第13号	矢巾町営住宅等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第14号	矢巾町水道事業給水条例及び矢巾町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第15号	矢巾町水路条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第16号	矢巾町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第17号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第18号	矢巾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第19号	矢巾町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第20号	矢巾町新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給等基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第21号	矢巾町教育委員会の職務権限の特例に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第22号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第23号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第24号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
議案第25号から 議案第30号	令和6年度予算6会計（一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算）	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第31号から 議案第46号	矢巾町農業委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第47号	古館橋橋梁補修等の2工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第48号	矢巾町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第49号	矢巾町職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第50号	矢巾町公共下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第51号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算（第13号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第52号	令和5年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第53号	令和5年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第54号	令和5年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第55号	令和5年度矢巾町水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第56号	令和5年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第1号	矢巾町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第2号	第8次矢巾町総合計画策定調査特別委員会の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○＝原案に賛成 ●＝原案に反対 欠＝欠席 可＝可決 否＝否決 退＝退席

注：廣田清実議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと



あかまる ひで お
赤丸 秀雄 議員
(新誠会)



非常時必需品の準備は万全か 3日分の必要物資は配備済み



避難所の室内テントの簡易トイレ

質問 災害時、避難所で必需品の不足が問題となるが、町の備蓄状況は万全か。
また、分散保管をどうなされているか。
町長 避難拠点ごとに想定人数の3日分を最低保管し、必要品をそれぞれ分散保管している。

質問 災害から身を守る最重
要なことは、日頃の避難訓練
や講習会を行うことであるが、
町長 防災に係わる講習会開
催、避難訓練など一つずつ着
実に努めていく。

農業後継者は 危機的状況

適地適作に努める

質問 複数の農業従事者の方
は「我々はあと10年農業はや
れないだろう。理由は体力、
耕作機械買替、水田活用直接
支払金、畑地化促進事業支援
金解消などの農業環境の厳し
さ、それとサラリーマンの定
年延長で農作業技術継承は難
しい」と話す。町内の農業は
危機であると思うが。

町長 土壌診断に基づく適地
適作や農商工共創センター構
想による地域連携により、強
い経済循環構築に努める。

西部エリアに 散策コースを

自然を活かした 観光に努める

質問 高齢者を中心に低山の
トレッキングがブームであり、
城内山、水辺の里、煙山ダム
の多目的利用など、南昌山を
中心とした西部エリアに散策
コースを設定して、観光PR
ができないか。

町長 西部エリアの観光地化
構想はあるが、整備遅れもあ
ることから検討課題として踏
まえる。

不登校の

児童生徒対策は

個人ごとに 心に寄り添う

質問 長期休みの現状と、不
登校と思われる方の人数は。
不登校から引きこもりにな
るとも言われ、低年齢からの
対応が大事と思うが。

教育長 6小中学校で50人程
おり、内9割が不登校と思わ
れる。個別に本人・家庭と相
談し、対応に努めている。

音楽のまちやはばの 取り組みを 新たな取り組みも協議して



みずもと じゅんいち
水本 淳一 議員
(町民の会)



質問 「まちを歩けばどこからともなく音楽が聞こえてくる」施策の充実を。

教育長 令和5年度は徳丹城曲家ミュージックフェスティバルに取り組み、成果を上げている。令和6年度は音楽祭実行委員会を中心に音楽祭をより充実させるとともに新たな取り組みについても協議を進める。

質問 合併70周年を記念した矢巾町史に掲載する写真などの提供を募っていたが、その収集状況は。

教育長 古文書も含め提供はない状況。前回の町史発刊で使用した写真などとあわせて、取り扱いについて検討する。

質問 計画期間が令和6年度からの第2期矢巾町スポーツ推進計画の策定状況は。

教育長 令和4年3月に国が策定した第3期スポーツ基本計画を参酌し、国や県の施策に対応しながら策定を進めている。



徳丹城曲家ミュージックフェスティバル

代表質問 町政を問う

子育て対策は

こども家庭課を

新設

質問 出産後も仕事が続けられる環境づくりの考えは。

町長 こども家庭課の新設により、母子保健と児童福祉が一体となり、子育て、保育環境のさらなる充実を図る。

質問 西部地域に子どものレクリエーションの場を。

町長 子どもをターゲットにしたアスレチック施設のほか、町営キャンプ場や総合グラウンドなど、親子で楽しめる施設を併設。昨年からは新たに煙山ダムでのウォータースポーツを取り組むなど、各施設連携のイベントを引き続き検討。

質問 懇談会やワークショップなどでの各地域への支援は。

町長 令和5年度は煙山小学校区の自治会を対象に地域カルテ作成ワークショップを実施。残る3小学校区については令和6年度に実施。

質問 「自治会の手引き」の内容と目的は。

町長 地域コミュニティ組織の業務内容を理解しやすく整理し、地域の負担軽減や担い手不足の解消を図る。



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(矢巾未来の会)



高齢化社会の認知症対策は 症状や生活の細部に対応

質問 認知症予防については。

町長 予防の1点目は、原因となる脳の認知を知り若いころから高血圧を主体とした生活習慣病予防につながる生活を心がける。2点目は、認知症を発症する可能性は誰にでもあると捉え、健診受診率向上に努めるとともに、フレイル予防に注意した生活を送る。

質問 気づきについては。

町長 気づきについては、多くの方が認知症について理解することが重要。

質問 治療については。

町長 「認知症地域支援推進員」が相談対応を行い、医療機関の受診につなげる。



ご近所で話して笑っていつも元気 (高田3区)

かかりつけ医もなく生活に支障のある方の支援は「認知症初期支援チーム」が医療への橋渡しや生活支援を行っている。

質問 理解や周知については。

町長 理解や周知を深める研修の場として「認知症サポーター養成講座」を開催。

本年度末時点では9006名が受講。チームオレンジやはばを結成し、理解や啓発活動を行っている。

質問 生活根拠地での支援は。

町長 在宅における支援は、オレンジボランティアによる買い物支援などの生活支援サービスとして「訪問型サ-

ビスB」を提供。また、誰でも参加できる居場所「えんじょいセンター」を会場に、おれんじカフェを開催している。

子ども預かりの 充実は

利用者の意向に 沿った利用調整を

質問 子どもショートステイやトワイライトステイ(夜間だけ預かる)の利用状況は。

町長 保護者が入院などの事情により家庭で養育が難しいとの相談を受けた際には、保護者の意向を確認し、解決策のひとつとして、それらの利用を提案している。

質問 若い世代の増加が期待される本町では、ニーズが高まるのでは。

町長 今年度において、5施設と利用に関する委託契約を締結。対応できる施設が限られるので現時点で施設数は増やせないが、希望があれば意向に沿って調整を図る。

老朽が顕著な慰霊碑対応は 関係機関と対策を協議



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾未来の会)



質問 町内3カ所の戦没者慰霊碑は老朽化しているが、国に対応を求めている。

町長 本町・県などの遺族会関係機関と相談し対応する。

**行政運営の
構想を伺う**

**皆様のご意見を
反映させる**

質問 田んぼダム化を奨励しているが、どの程度の取り組み状況か。

町長 11・4鈔に留まっている。貯留効果が生かされていない。今後、情報提供や周知により防災減災の向上に向け面積の拡大に努める。

質問 駅西エリア開発の調査



戦没者の忠魂碑（不動地区内）

検証は、何年頃の開発をめづすか。また、町民の意見などを反映させるか。

町長 都市機能のあり方など都市機能再生特別措置法に基づく策定について検討を行う。また、居住誘導が地域活性化に繋がるよう努める。

質問 大腸がん検診率向上のため、企業の成果連動型民間委託による事業に取り組んだ成果と成果報酬の契約内容は。

町長 令和3年度比40歳から69歳までの受診者数は増加傾向である。成果は一人増加することに1万円を支払う、成

代表質問 町政を問う

果連動型である。

質問 ギャンブル依存症更生施設が開設されるが支援策は。

町長 場所の選定、県への手続きなど法人との連絡を密に、事業が円滑に進むよう支援中。

学校運営協議会の活動は

開催は多いが

実態伴わず

質問 協議会の開催状況と町民への開示は。

教育長 年13回開催しているが、町民への状況開示は1回のみで反省している。

質問 不登校・いじめの状況はどうか。

教育長 令和3年度いじめ件数576件、4年度616件、5年度1月時点305件。また、不登校は令和3年度51人、4年度46人、5年度1月時点76名である。



ふじわら しんえつ
藤原 信悦 議員
(町民の会)



にぎわいのある徳丹城跡に 他の史跡整備を参考に進める

質問 国指定史跡徳丹城跡の整備保存は、どのような考えで進められているのか。

町長 文化庁調査官、史跡徳丹城整備活用委員会の提言や全国の史跡整備状況を参考に進めている。来年度には木製兜の井戸跡レプリカを復元する計画である。

質問 歴史民俗資料館は、入館に階段の昇降を要し、展示スペースなども狭い。平屋の遺跡関連の展示スペースの他に多目的催事スペースや売店喫茶・談話スペースを備えた施設に変える構想はないか。

町長 現時点で、歴史民俗資料館の廃止については考えていない。

人が集い、にぎわいのある史跡徳丹城跡となるよう、魅力ある史跡整備計画と併せ各種イベントの開催により、歴史民俗資料館に足を運んでいただけるよう取り組む。
提案の多目的型施設については検討していく。

中小企業振興の 進捗は 将来像の実現に向け 整備中

質問 地域産業育成お役立ちセンターの立ち上げ状況は。

町長 地域産業育成お役立ちセンター事業に係る要綱などの整備は4月の告示に向け整備中。また、各種施策を推進するコーディネート者の設置は、予算および要綱を調整中。悩みを抱える地域企業には、伴走的な支援ができるよう取り組みでいく。

地区計画制度 での誘致進捗は

事業期間の 短縮に努める

質問 地区計画制度の企業誘致の進捗状況はどうか。

町長 現在、第二事業区に立地を希望する企業を審査中。立候補者が決定した場合は、用地交渉が整うことを前提に、

地区計画に係る都市計画手続きを進める。

質問 決定、手続きに時間がかかりすぎるのでは。

町長 開発行為と並行し、地権者の意向調査を開始するなど、継続して時間短縮に努めていく。



史跡関連遺構の整備が進む徳丹城跡西部

夜間中学級の設置は 県の動向を注視



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)



質問 夜間中学は戦後の混乱期の中で、生活困窮などで昼間に就労などを余儀なくされた学齢生徒や、日本で生活する外国籍の人、また不登校児童生徒に対する教育機会確保として、多様な背景を持つ人に義務教育の機会を提供する

ものである。
町内の中学校に夜間中学級を新設できないか。
教育長 国は各都道府県において協議会を設け、域内を総合的にコーディネートすることと示しており、今後の県の動向を注視する。

SNSから 児童生徒を守る

アプリの活用状況

検討

質問 SNSなどを通じて知り合った相手に、自身の裸や下着姿など不適切な画像を送信したことによる自撮り被害が全国的に増加している。
子ども自身が被害者にも加害者にもなり得る事件が増加していることから、子どもを守るために開発されたアプリが「コドモモ」である。
親子ともにスマートフォンにアプリをインストールし、子どもが不適切な写真撮影をした際にA-が自動的に検知し、子どもに注意喚起、親に

は通知が届く。サーバーを介さないため、個人情報など漏えいの心配がない。
「コドモモ」の周知啓発を行っているかどうか。
教育長 学校への周知については、アプリの活用状況などを把握し検討する。

町営住宅整備の 方向性は

慎重に調査継続中

質問 民間住宅の有効活用について、進捗状況は。

町長 建築費を上回る借上料のため、推進できない。

質問 町営住宅は何軒くらい必要と見込み、民間住宅への影響はあるのか。

町長 慎重に調査を継続中。

質問 子育て世帯の入居に配慮した施策とは。

町長 優先的に入居できる取り組みを推進し、子育てに適した改修内容を、長寿命化計画に反映する。

国は夜間中学を各都道府県に1校設置を促進している

イラスト提供：札幌市教育委員会

高区配水塔建設費 倍増の理由は 支持地盤の杭基礎が必要



おがわ ふみこ 議員
小川 文子 議員
(日本共産党矢巾町議団)



質問 西部系水道の高区配水塔を廃止して西部浄水場内に配水池を建設する計画が示されたが、建設費が9億9千万円と倍増した理由は。

町長 予定地の地盤調査の結果、支持地盤が当初の推定より深く50メートルに達することが判明し、杭基礎が必要となるほか、1日最大給水量の精査により総事業費が増額となる。

質問 建設費には国庫補助が無いということだが、配水塔の解体費4億円にはあるか。

町長 国庫補助のメニューに無いが、国に要望していく。

質問 高区配水塔から水道水の供給を受けている人数は。

町長 令和4年度末で882人である。

質問 本町は築川ダムの利水権として3億円県に支払ってきたが、これを活用して同程度の標高で隣接する盛岡市から水道水の供給を受けられないか。

町長 盛岡市の湯沢配水池の標高が232メートルで当地区の最高地点が255メートルであることなどから難しいと捉えている。

脱炭素・ごみの減量・資源化は

地球温暖化対策 実行計画を策定

質問 ごみ減量・資源化の更なる取り組みは。

町長 資源回収の環境づくり

を進めると共に事業系古紙類の搬入規制を継続する。

質問 盛岡広域環境組合のごみ処理基本計画では分別は各市町で取り組み焼却を広域で実施することになっている。

生ごみは本町や紫波町、盛岡市の一部や葛巻町以外は焼却する見込みであり、本町の今後の見通しは。

町長 生ごみ分別収集は今後も継続したいと考えており、民間事業者の活用を検討している。

芸術鑑賞教室を

今後も継続する

質問 田園ホールでの音楽イベントに、児童・生徒を無料招待できないか。

町長 学校のニーズを把握しながら検討する。

質問 児童・生徒に芸術鑑賞教室ができないか。

町長 音楽鑑賞や演劇鑑賞を各学校で実施している。

再生可能エネルギーの 方向性は 太陽光を軸に木材も検討



よこさわ しゅんいち
横澤 駿一 議員
(強くやさしい矢巾)



質問 本町のエネルギー自給率は把握しているか。

町長 エネルギー自給率として把握しているものはないが、環境省地域経済循環分析によるエネルギー収支として約80億円のエネルギー代金が町外に流出している。

質問 肥沃な大地の源である山を管理している林業従事者の現状と対応は。

町長 町内には県が認定した「岩手県意欲と能力がある林業事業体」が3団体あり、来年度、森林環境譲与税を活用し、町が実施主体となり、保育間伐などを実施する。

質問 現在、主に自家消費型太陽光発電設備の設置などの補助事業を行っているが、



ペレットストーブがある暮らし

地域資源を最大限活用した再生エネへの取り組みとして木質バイオマスの活用も有効的だと考えるがどうか。

町長 本町のポテンシャルを考えると太陽光が適している。今後、熱利用などに適している木質バイオマスの補助も検討していく。来年度設置予定の町農商工共創センターで

ペレットストーブがある暮らし

消防団組織体制 の見直しは

時期を見て検討

はエネルギーの地域内循環ができないか検討していく。

質問 藤沢第2地区、田中地区、下花立地区の新住宅地の

消防を管轄する部はどこか。

町長 藤沢第2地区を第1分団第1部が、田中および下花立地区を第2分団第4部が管轄する。

質問 消防団協力事業所表示制度の現状は。また、協力事業所に大学も加入できるようにしてはどうか。

町長 現在加入していただいている事業所は1事業所。大学などの教育機関からも協力いただけるよう働きかけたい。

質問 教育訓練や各種行事の抜本的な見直しが必要では。

町長 今後アンケートなどを実施し、消防団員が活動しやすいよう、適切な訓練や行事の実施を図っていく。

質問 人口が比較的多い地域から、人口減少し実質的に団員確保が難しい分団へ優先的に団員の拡充を図るなど、団員数の偏りを是正できないか。

町長 歴史と伝統を重んじながら、消防団全体の再編成を視野に入れ検討する。



さいとう かつひろ
齊藤 勝浩 議員
(矢巾未来の会)



CO₂削減への取り組みは 持続的な取り組み環境を整える

質問 町の「ゼロカーボンシティ」への取り組みで温室効果ガス排出の可視化を行うとしたが現時点での観測、計測および評価状況はどうか。

町長 現在、削減に効果的な取り組みの傾向を分析するため、民間企業と協定を締結し町内公共施設の排出量を試算している。

町内全域の排出量の把握方法は、来年度策定する矢巾町地球温暖化対策実行計画区域施策編に定めていく。

質問 CO₂排出は6割が家計消費のものと分析されている。継続的削減にライフスタイルの変化へ力を注ぐ必要があり、促進へどう取り組む意向か。

町長 町民一人ひとりのライフスタイルの行動変容の積み上げが重要だ。エネルギーの地産地消と生活習慣変化への意識を高め、既存イベントなど連携し削減を積み重ねる。

健康寿命の 延伸策は

町民が主体的に取り組む環境を整備

質問 「自分の健康は自分で守る」は、受診者の自己責任に依存する割合が高く、健康寿命は延伸されないのでは。

町長 町民が主体的に健康づくりに取り組める総合的な環境整備を進め、生涯を経時的に捉えた健康づくりへのポジティブな心理づくりと行動を積極的に手助けする運動を着実に進める。

質問 国保会計の高額療養費部門が増加傾向にある。総花的な健康対策から罹患割合の高い疾病対策に特化することもある必要はないか。



エネルギーの地産地消は可能か？

町長 現在国保データベースシステムでのデータ分析を実施。健診未受診者対策と並行し、重症化予防も行う。

コンパクト シティの考察を

各種施策を
横断的に展開

質問 一般国道4号盛岡南道路の事業化に伴うマスタープランの一部改定があったが、未来の環境、人口減少問題を再度検証し、今後の歩みをコントロールする必要がある。

町長 コンパクトシティの取り組みは持続可能なまちづくりに有効な考え方である。今後策定する施策と合わせ、横断的に展開していく。

教職員働き方改革の効果は ワークライフバランスの確保



やまもと よしあき
山本 好章 議員
(新誠会)



質問 本町教職員の超過勤務時間が45時間以上の割合および月100時間以上の人数は、また、病気休職者は。

教育長 時間外勤務が45時間を超えている教職員は、昨年4月時点で52・48%、月100時間以上の人数は、6名となっている。また、病休者については昨年4月時点で病気休職者2名、病気休職者が1名となっている。

質問 学校安全衛生委員会は何回開催され、会議の内容は。
教育長 年2回開催。改革プランに基づいた実施状況の成果と課題の報告および改善方法の共有を図り、働き方改革に取り組んでいる。



今年は楽しい迷路や夜のライトアップを検討

質問 業務改善の推進で具体的事例はどんなことか。

教育長 超過勤務過多の教員にその原因を自己分析させるほか、個人毎にグラフで見える化し、学校全体で共有するなどの取り組みを実施。

質問 学校を支える人員体制の拡充はあったのか。

教育長 適応支援員6名、特

別支援教育支援員9名を配置。なお、来年度は特別支援教育支援員を1名増員する。

質問 令和6年度以降の働き方改革プランの策定は。

教育長 岩手県教職員働き方改革プランを参酌し、先月策定した。教職員のワークライフバランスを確保しながら、教育環境の充実に努める。

西部地区の
観光活性化は

ひまわりパーク

迷路などを検討

質問 ひまわりパークの取り組みの成果は。

町長 見晴らし台や幸福の鐘などは、写真撮影スポットとして好評を得ている。

質問 新しい企画の検討は。

町長 子どもが楽しめる迷路や夜のライトアップ、夜のひまわり祭りなどを検討。

国道4号盛岡南
道路への要望

最大限支援

質問 現時点で地元での要望はどのようなものであると捉え、どう橋渡ししていくのか。

町長 地域の皆さまからの意見を吸い上げ、国との橋渡し役として、最大限の支援を行っていく。



きむら ゆたか
木村 豊 議員
(日本共産党矢巾町議団)



「防災マップ」の住民説明

自治会単位で実施

質問 町内を4分割にしたA1サイズのマップのほか冊子版を作成したが、町民への周知がより必要ではないか。

町長 自治会からの要請に基づき、説明会の実施や防災訓練などで災害リスクを認識することや、わが家の避難行動計画マイ・タイムライン作成の普及、各家庭の備蓄品や非常持出品の災害時の備えなど、具体的なマップの活用方法について今後も周知を図って行く。

質問 指定避難所としている「南昌コミュニティセンター」は、町道西部開拓線より低い場所であり、大雨・洪水が発生した場合、また、北上低地西縁断層帯が矢巾町から花巻市まで走っていることから、

避難所としては不適切ではないか。

町長 土砂災害警戒区域外で浸水リスクも無いことから、避難所としては有効であると考えている。断層帯が活動し直下型地震が発生した場合、被害状況により避難所としての機能が失われる可能性もあることから、使用できない場合も想定し、指定基幹避難所の矢巾勤労者共同福祉センターや公共施設の利用など、複数の避難先を検討できるような周知を図る。

鳥獣被害の防止対策は

電気柵を設置

質問 果樹、水稻、野菜への被害対策の電気柵・ワイヤーメッシュ柵・ネット柵などは、だれが設置し、補助は。

町長 鳥獣被害および目撃情報が多数報告のあった南昌行政区の個人・団体が設置し、電気柵などの購入費用の3分の2に相当する金額を町鳥獣

被害防止対策協議会から補助金として支給している。

質問 猟友会会員は高齢化していると思う。狩猟免許取得に係る費用を含む補助事業として、県では新規狩猟者確保対策事業がある。鳥獣被害防止のため狩猟者を確保するに

は、この交付が威力を発揮すると思われることから、町としても積極的に活用・誘導し、後継者確保に努めるべきではないか。

町長 昨年度は2名が当該補助事業を活用しており、後継者確保に繋がる補助事業の活用について周知を図る。



土砂災害計画区域（南昌地区内）

コミュニティの担い手育成は 研修等の機会を確保



こん 昆 議員
しゅういち 秀一 (新誠会)



質問 町内では現在、宅地造成されていて、新しく行政割も行われている。その中で、地域コミュニティの担い手の育成についてはどのように考えているのか。

町長 担い手を育成する上で住民の把握が重要と考えている。町コミュニティ連合会と連携しながら、新たな担い手を務める人材がいち早く地域運営に必要な知識を学べるよう研修会などの機会を確保したいと考えている。

質問 コミュニティ条例を改正する考えは。

町長 多くの住民の意見を聞きながら進めるべきと考えている。機会を捉えて町民との

議論を重ね慎重に検討していきたい。

今後の広聴活動 の予定は

町民懇談会など

対面で検討・実施

質問 広聴とは広く意見や要望などを聴くこと。行政にとつて住民ニーズを把握することは行政施策を推進する上で欠かすことができない。また、広報とは迅速に住民に行政情報を伝えることにより、住民と行政により良い信頼関係を築いていくものである。広聴の考え方と今後の活動の予定は。

町長 広聴は、今後の本町の発展に欠かすことができないものと認識している。

今後の広聴活動は、現在行っている町民の声ボックスやホームページの問い合わせフォーム、広報やはばの投書用封筒での活動の継続に加え、町民懇談会などの対面での広聴活動を検討し、実施していく。

やはナビ効果は

多くの方の利用が 重要

質問 やはナビの効果についてはどう考えているのか。

町長 多くの方に対して利用していただくことが重要であると認識している。

転入者への周知や各種会議での周知を行い、他の情報発信ツールも含め周知し、多くの方に利用いただけるように普及啓発に取り組む。



岩手県 矢巾町

やはナビ!

矢巾町ホームページへ

プッシュ通知

あなた宛ての通知

多くの方の利用が望まれる やはナビ



たかはし けいた 議員
高橋 敬太
(子育ても老後も)



授業のライブ・録画配信は 状況に応じて対応

質問 様々な理由により、小中学校へ登校できない例もあることから、授業のライブ・録画配信を推進しては。

教育長 教育支援センターや別室登校している生徒に対してはライブ配信を行っている。

質問 環境を限定せずに、いつでも誰でも視聴できれば可能性も広がる。例えば、慢性疾患を抱える子は定期通院が必要であるが、病院の待ち時間で授業を受けたり、長期休暇中に予習や復習ができたり※ラーケーションへの対応なども期待できると思うが。

教育長 教育のICT化は、国の流れに沿いながら、町独自施策を多角的に検討する。

質問 教育機会の保障として、公営塾を設置する自治体も増えている。地域で学び、非認知能力を伸ばす「公営やはば塾」を設置しては。

教育長 先進的に取り組んでいる自治体から情報を収集し、検討する。

日本一働きやすい行政宣言を

一致協力を

掲げている

質問 地方公務員の受験者数減少や若手職員の退職が問題となっているが、対策は。

町長 採用については試験方法の変更やPR動画を作成することで成果を上げている。

離職防止については外部カウンセラーやメンター制度を導入し、定着を図っている。

質問 働きやすい職場には安心感の醸成が不可欠であり、そのためにはトップの意思表明が大切であると考える。基本理念に「働きやすい職場を

つくる」と追加していただけないか。

町長 職員憲章の1つに「一致協力」を掲げており、一体感が働きやすい職場につながっていくものと考えているが、時代に即した表現というものも、今後内部で検討していく。

自治会の負担軽減策は

デジタル自治会

モデル地区を検討

質問 今後は自治会のデジタル化も必要ではないか。モデル地区を設定し、有用性を検証してみては。

町長 配布の負担軽減を図るため検討している。モデル地区については、新設コミュニティや既存のコミュニティでも希望を募るなど検討したい。



さらなるICT環境の促進へ
(煙山小学校1年生の授業風景)

産業用大麻特区の考えは 数多くの課題がある



ササキマサヒロ 議員
(新誠会)



質問 産業用大麻の活用により、地域経済の成長に寄与すると思うがいかがか。

町長 町内において産業用大麻の栽培が行われておらず、どの程度地域経済の成長に発展するかは図りかねる。

質問 大麻草は全植物の中でもCO₂吸収量が高い。CO₂の削減効果について、欧州連合公式サイトでは、大麻1畧あたり9トから15トのCO₂を吸収、北海道での実験では42トから85トを吸収する数値が出ていることから「大麻でGX宣言」にむけて取り組むのはいかがか。

町長 現時点で判断できる根拠が不足。GX宣言を行うことは現在考えていない。

質問 将来矢巾町産の* CBD製品を生み出し、ふるさと納税に活用しては。

町長 需要と供給のうえで製品として成り立つものであり、ふるさと納税へ活用の考えはない。

質問 産業用大麻特区の取得は遊休農地活用や畑地化促進事業の後押しとなる可能性が秘められている。法改正されたことにより医療用大麻が使用可能の動きが出てきたことから、本町には大学病院があり今後の医療分野でも麻の利活用が見込められる。

矢巾町単体では難しいのであれば、特区制度を申請経験のある紫波町と提携し、紫波郡で実現は。

町長 医療用大麻の必要性の議論が活発に行われた場合に、生産に係る技術・加工・販売の循環型が不可欠。

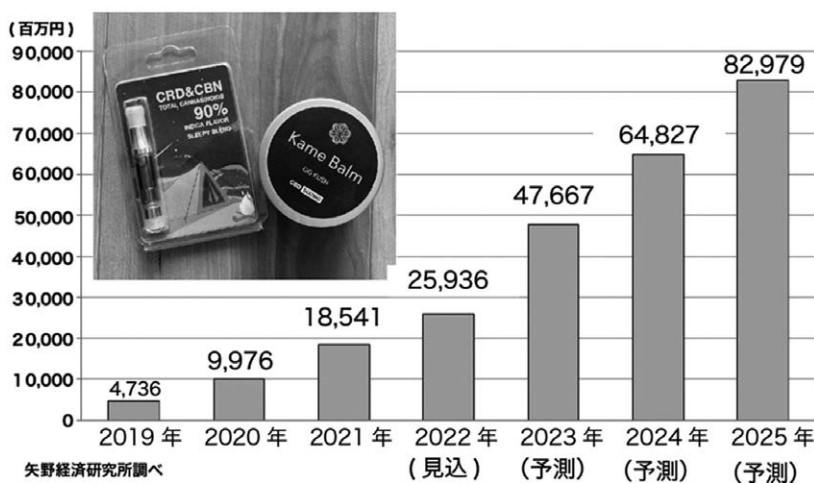
大麻特区を獲得するには数多くの課題を乗り越えなければならぬため、関係自治体との連携は、現実的に困難と考える。

投票率の数値目標を明記しては 数値目標を記載の 考えはない

質問 今後、住民参加のまちづくりを推進するため、矢巾町総合計画などに投票率の数値目標を記載する考えはない。

町長 選挙において投票することは政治参加への第一歩であるが、投票自体は個々の権利でもあり、そこに強制力を持たせることはできないと認識している。

現在のところ総合計画に投票率の数値目標を記載する考えはない。



矢野経済研究所調べ

注1. 小売金額ベース

注2. 本調査におけるCBD製品は、食品(オイル、サプリメント、グミ、クッキーなど)、ベイク(電子タバコ)、化粧品(クリーム、美容液、ボディケアアイテムなど)を対象とする。

注3. 2022年見込値、2023年以降予想値

CBD製品とその市場規模

*CBD製品…カンナビジオールの略で大麻草から抽出される天然成分の一種を含む製品。化粧品や飲料など多岐に渡る。



議会を傍聴して



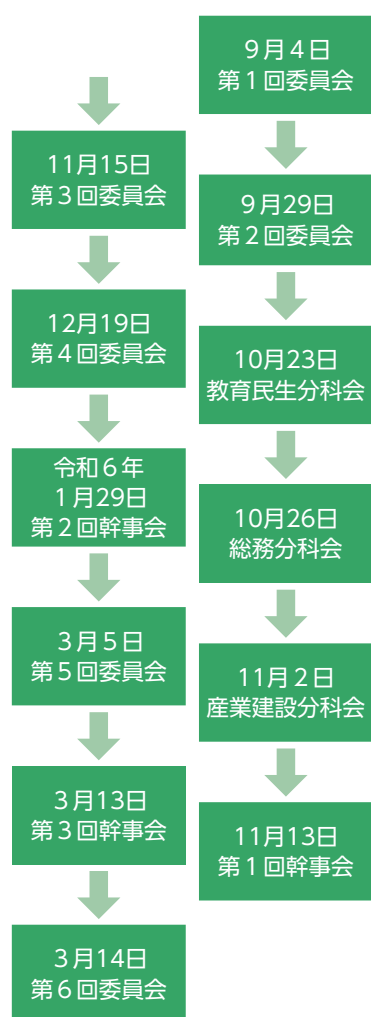
はりう まり
針生 麻梨さん（室岡）

矢巾町にはさまざまな課題があると思いますが、今回議会を傍聴し、各議員さんと町長、役場職員の皆さんが議会だよりでは伝わらない細かい所まで審議されていることに驚きました。時には笑いがあり、想像していた議会とは違った一面を見ることができ、町政を身近に感じることができてよかったです。

個人的には子育て世代であったり、事業を営んでいたり、居住地区が不動態地区であるため、子育て支援・中小企業振興計画・農業・西部地域問題など町政に望むことはたくさんあります。

議会ではこんなにも丁寧な質疑応答をされていたのかと間近で傍聴できたことは貴重な経験でした。この議会のもと、これからの矢巾町がどのように発展していくのか、今後の動向も大変楽しみにしております。

これまでの流れ



第8次矢巾町総合計画策定調査 特別委員会報告

第8次矢巾町総合計画策定にあたり、基本構想及び基本計画について審議を尽くしました。

調査経過

令和5年9月4日に特別委員会の設置から、議案として上程された令和6年2月19日までの間、特別委員会4回、幹事会2回、分科会を3回それぞれ開催し、担当課より2回にわたり内容について説明を受け、第8次矢巾町総合計画（案）に対し、質疑や意見等を交わし協議するなど、調査、研究を行った。

また、その後議案として上程された令和6年2月19日以降は、特別委員会2回、幹事会1回開催し、議案に対しての審査を行った。

調査結果

本特別委員会は、委員会設置後調査を行い町当局への提言等を経て令和6年2月19日の令和6年矢巾町議会定例会3月会議に上程され同日付で付託された上記議案第4号について審査した結果、原案を可決すべきものと決定したので、矢巾町議会会議規則（昭和62年矢巾町議会規則第1号）第77条の規定により報告する。

なお、本委員会は議案第4号に対し、次のとおり附帯決議を付する。

- (1) 年度末ごとの目標値を明確にし、目標の早期達成や定着に努められたい。
- (2) 町内外に向けデジタル情報発信の強化を図るとともに広聴活動にも力を入れ広く意見を吸い上げながら計画の推進に努められたい。
- (3) PDCAサイクルの評価や効果検証は内部だけでなく第三者の意見も参考に町民にも分かりやすく公表しながら計画の推進に努められたい。
- (4) 前期計画で示されたまちづくり指標だけにこだわることなく、必要に応じて新たな指標を実施計画等において設定するなどし、期間内の施策推進に努められたい。
- (5) 新規事業の導入に当たっては、その実現に向けた検討を入念に行い取り組まれたい。

視察レポート①

1月25日から26日にかけて、諸会派から議員6名が東京都足立区に訪問。

東京いずみ幼稚園を視察見学した後、学校給食の無償化および夜間中学校の取り組みについて学んだ。

！議員の所感ピックアップ

「三つ子の魂百まで」

高等幼児教育に触れる東京いずみ幼稚園では「三つ子の魂百まで」のとおり、幼児期に受けた教育はその後の人格形成に大きな影響を与えることから、人としての基礎づくりを理念としていた。保育士の質問には手を挙げ指名されると起立し、イスを机に納めてから回答する姿には驚かされた。幼いながらも一人ひとりが自覚をもち高い集中力で活動しており、すばらしいの一言であった。



足立区区議との懇談も行った

視察レポート②

1月30日から31日にかけて、諸会派から議員7名が山形県小国町と南陽市に訪問。

小国グリーンエナジー合同会社ペレットマン小国展示場を視察見学した後、南陽市のみらい戦略課から「ラーメン課プロジェクト」の取り組みについて学んだ。

！議員の所感ピックアップ

「ラーメン」で賑わいを

中高生を中心とした若い方の意見により立ち上げた決断は評価に値する。また、ラー

メン店経営に負担にならないよう、プロジェクト主体や学生、地元で活動する方の協力で誘客の取り組みをしている点も良かった。本町でもできる施策を考えていきたい。



再生可能エネルギーについても視察

視察レポート③

2月6日から8日にかけて、町民の会の議員6名が群馬県高崎市・太田市、茨城県水戸市に訪問。

歴史ある「音楽の街」高崎おとまちプロジェクトへの取り組みや、群馬県内唯一の大型児童館「ぐんまこどもの国児童館」、芸術文化と歴史的資源の活用を目的とする「水

戸市民会館」を視察見学した。

！議員の所感ピックアップ

開始から12年目

長く続く理由は高崎おとまちプロジェクトは開始されて12年目。開始当初から毎回必ず参加する3名のスタッフは仕事で音楽に携わり「高崎のために何かしたい」という思いが熱い。

そんな熱心で自発的に関わってくれる方々のおかげで高崎市のプロジェクトは続いている。本町においても人材の掘り起こしと働きかけの価値は必ずあり、町をあげて音楽活動に誇りが持てる事業の実施を望む。



高崎おとまちプロジェクト

研修

物流2024
問題を考える

紫波郡町議会議長会は、2月15日に議員大会総会および研修会を開催。

研修会ではプロロジスパーク盛岡（矢巾町大字広宮沢地内）を見学した後、株式会社プロロジス開発部マネージャーの荒木 彰一氏から「物流問題2024とプロロジスパーク盛岡のはたす役割」についてご講義いただきました。



議員大会総会の様子



自動車钣金塗装業

車好きだからお客様の修理も
自分の愛車同様の愛情と労力を惜しみなく注ぐ筆者

こん くん
しん 真
や 也 さん (南昌)

好きこそものの上手なれ

生まれも育ちも矢巾町。現在も地元で工場を構える株式会社AKC板金P.I.Tで自動車钣金塗装の職人として働く生粋の矢巾っ子です。子どもの頃から同級生の友人や先輩、後輩に恵まれ、青春時代は地元の仲間達とスケボーやバンド活動に明け暮れました。

中学卒業後は早く社会に出て車やバイクに携わる職に就きたかったので、県立盛岡工業高校の定時制に通いながら

昼間は(有)沼田兄弟自動車さんで働かせてもらいました。2輪の免許しか持っていない若造を雇ってくれた上、どんなに忙しくても夕方になると必ず学校に通わせてくれました。

アットホームな職場で我が子のように接してくれる社長さんや専務さんに報いるべく、無我夢中で技術を習得できたおかげでプロとしての今の自分があるのだと心から感謝しております。

現在の職場では一般修理のほか、趣味と実益を兼ねた分

野としてカスタムカーと呼ばれる自動車のドレスアップ事業にも長年取り組んできました。本場アメリカの高度な車体加工や特殊塗装の専門技術を得るべく独学で学び、本場のホンモノをこの目で見たい!という想いのままカリフォルニア州に渡米して視察にも行きました。

その甲斐あって、東京や横浜で開催されるカスタムカーの全国コンテストでの優勝、雑誌取材で表紙を飾るなどの貴重な体験を得られました。

「好きこそものの上手なれ」とばかりに我が道を突き進んできた私ですが、今年で四十路男となるだけに次世代の若者達と自らの若き日の実体験のような楽しさを享受、継承することで新たな地域活性化の一端を担えたらいいな、と思うことしばしばです。自動車整備業界では少子化や若者の車離れによる人手不足が懸念されているだけに、尚更その想いは募るばかりです。

あしがき

3月会議は新年度予算に係る審議であったため、今回の議会だよりは内容が盛りだくさんとなっております。今年度の取り組みがたくさん載っていますので、ぜひご一読ください。

ご不明な点やご意見はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。

編集委員 高橋 敬太

発行・編集責任者

編集委員

議長 廣田 清実
委員長 藤原 信悦
副委員長 小笠原佳子
委員 高橋 恵
高橋 敬太
ササキマサヒロ



高畠町議会
広報広聴常任委員会 来町

平委員長以下6名の議員が来町され、広報広聴常任委員会並びに分科会活動について視察を受けました。

